

平成23年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生坂村のじじばば元気だ一事業
事業主体 (連絡先)	生坂村 総務課 電話 063-69-3111
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,548,235円 (うち支援金: 1,454,000円)

事業内容

2年目の23年度は1年目と同様に農地の荒廃化が進むなか、高齢者農家がいくさか大好き隊員や農業公社等と協働により農地を復旧し山菜を植栽するとともに、有害鳥獣防止に効果のあるハーブを研究するため、畑の周りにラベンダー・ニンニク等を植栽した。

また、高齢者グループが協働で山菜の成長を楽しみながら、山菜園の周囲に花を栽培し、景観改善を行った。

これにより、農地の荒廃化や高齢者の生きがい対策の活動ができた。



【古坂地区ラベンダー植栽】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

23年度、全て荒廃農地を耕起し、植栽した。

ワラビ苗	18a
タラの芽	20a (前年立ち枯れ補植を含む)
ハーブ苗	15a
計	53a

22年度	76a
合計	115a (補植面積14a)

【目標・ねらい】

- 荒廃農地の復旧
- 集落の生活環境改善
- 高齢者の生きがい対策
- 地域おこし協力隊員との交流

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

過疎化の激しい生坂村で、地域の高齢者の生きがい対策を兼ねて、いくさか大好き隊員や農業公社との協働により、荒廃農地を復旧し、山菜やハーブ等を植栽する。

この山菜は1年では収穫できないため、3年計画で植栽と育成をすすめ、都市住民との収穫・試食交流や山間地域ならではの山菜の特産化により高齢者の生きがいと地域の活性化を目指す。

しかし、有害鳥獣の被害に遭う山菜や野菜等の保護のためハーブを植栽し、24年度はそのハーブを利用する教室を開催する。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。